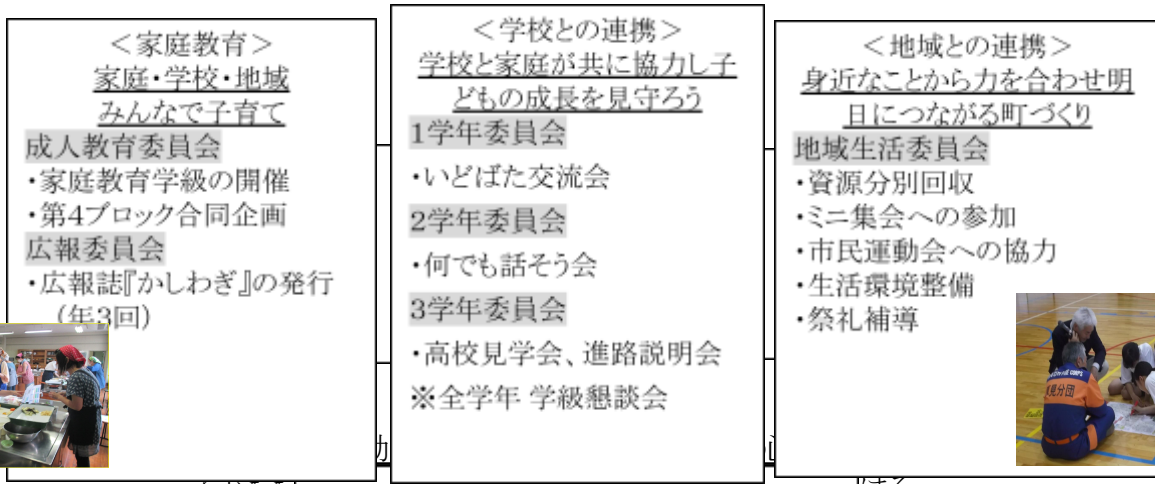




感謝と思いやりの心を育み、家庭・学校・地域の絆を深め、共に成長！

富田哲夫

厚見学園コミュニティスクール(家庭・学校・地域連携、小中一貫)



子ども

ける。

執行委員会

- ・南海トラフ地震やこれまでとは状況が危険性が高くなっている。
- ・校区内に鉄道駅や交通量の多い道路があり、不審者情報も多い。



- ◆継続的な取組として青色防犯パトロール、夜間パトロール、祭礼補導、通学路点検等を実施。加えて、小中合同引き取り訓練やDIG(災害図上訓練...2年生+PTA+水防団+消防団)、HUG(避難所運営ゲーム...小中学校職員+PTA)など新しい試みも取り入れている。

《成果と課題》

ニーズの高まりと共により有効な活動を精選して一人でも多くの人の意識を高める必要がある。また、地域とPTAとの連携をさらに強化し「安心・安全な街づくり」を推進していきたい。

特色ある活動2...『ノーメディアデー』を通してメディアとの付き合い方を考える

- ・厚見小中学校はインターネットやゲームに費やす時間が長い(全国学力学習状況調査等より)
- ・それが朝食を食べてこない生徒や生活リズムを乱しがちな生徒が多い実態の一因になっている。



- ◆期間を決め、スマホ、PC、TV等を用いない生活をする中で、家庭生活や家族のコミュニケーションのよりよいあり方を考える機会にする。(年3回小中一斉に実施。期間は1回につき3日間。中学生が作ったポスターを小学校や公民館にも掲示してPRする。)

《成果と課題》

家族で会話を楽しんだり、日頃無意識で使っているメディアの意味を考え直したりするよい機会になった。小中合同でやることで保護者も子どもに声が掛けやすかった。この期間は意識しても、それを終えたら元通りという声もあり、取組をどう日常生活につなげるかが課題。